



2022年、 来年の寅年はトラの生存に 最も重要な年

— 見えてこない、各国によるトラ保護の成果

トラ生息国の首脳たちがサンクトペテルブルグに集まり、各国のトラ個体数を2022年の寅年までに倍加させると宣言したのが2010年。その寅年を目前にした今、トラ回復計画の枠組みを作りその進捗を促す重要な役割を演じてきたグローバルタイガーイニシアチブ(GTI)によるアップデートが止まっています。

インドシナトラのいたカンボジア・ラオス・ベトナムでは、トラの姿が見られなくなりインドネシアにいるスマトラトラも極めて危ない状況です。

保護活動が比較的充実しているインドやロシアでも生息地の喪失、分断化、密猟が脅威となっています。

2032年の寅年にも野生でトラが生き残るためには、世界の国々からの関心が強く求められています。

これまでの課題

トラが多く生息する中央インドも、生息地の喪失、分断化、密猟、家畜被害からのトラへの報復など多くの脅威に直面。活動地をトラの聖地である中央インド全体に広げコリドーを守る必要があります。

Achievement 成果

- 1 新設の保護区、イサプール野生生物保護区森林局スタッフへ2日間のトレーニングワークショップ開催&フィールド装備配布。
自動撮影カメラ9個、GPS、浄水器、蚊帳など。



- 2 ジャンглブックの舞台であるパンチ・トラ保護区スタッフへワークショップ開催&装備配布。
118個の浄水器、携帯用ソーラーランタン



残された課題

コロナ禍でもWTIのたゆまぬ情熱に影響を受けた保護区からトレーニングWSの開催要請があります。山火事の拡大防止に威力を発揮しているリーフブローアを使ったWTIの消火活動要請はバンダブガル・トラ保護区からも依頼され、来年実施予定(P4クラウドファンディング参照)。JTEF/WTIは今後も中央インド全体の保全に関わる活動を地元の人たちと協力して精力的に行っていく必要があります。



皆様のご支援で、
これだけ成果が
挙げられました。
ありがとうございます！
ございました！

国内象牙市場プロジェクト

これまでの課題

アフリカのゾウの象牙目的による密猟はおさまっていない。しかし、日本では象牙販売が許されたまま。東京都は独自の規制をにおわせていたが、トーンダウンの懸念あり。



© 吉野信

Achievement 成果

2020年

12月

国際NGOのEIAと共同で、レポート「違法な海外持出しに我関せず 象牙印を進んで販売するハンコ店：印章小売業者に対するスナップショット調査」を発表



1月

国際NGOのワイルドエイドと共同で、レポート「TOKYO象牙 海外注文承ります：止まらぬ象牙の違法輸出、その裏側に潜む実態に関する調査」を発表



6月

EIA, 国際NGOのHSIとともに、「東京都、象牙取引に対する短期的な取組みでつまずく」と記者発表

7月

HSIとともに、ヒラリー・クリントン元国務長官らが、「いよいよ象牙取引を終わらせなければならない」とする書簡を小池東京都知事に送ったことについて記者発表

10月

世界のNGO31団体の連名で、東京都知事に對し、東京都内における象牙販売禁止を求める要望書を送付

- ☑ JTEFのレポートや主張がメディアで繰り返し取り上げられた。
- ☑ JTEFの主張が、アフリカや欧米のNGOに広く支持され、協調したアクションが実現している。
- ☑ 米国のヒラリー・クリントン元国務長官ら、影響力の大きい国際的著名人が日本の象牙市場閉鎖を求めて立ち上がった。

残された課題

東京都の「象牙取引規制に関する有識者会議」が何とか都内独自の象牙取引規制に踏み込むよう、さらに働きかけが必要。来年3月にはフランスでワシントン条約常設委員会が開かれる予定なので、日本政府への働きかけも強化が必要です。

南インド・ケララ・ゾウ保護プロジェクト

これまでの課題

世界のアジアゾウの4分の1が生息する南インド。しかし、コーヒー農園や村の入植・開墾によって生息地の森林地帯が分断されつつある。ベルト状に残された森を、ゾウが「渡り廊下」(コリドー)のように使って移動し続けられるようにする必要あり。



Achievement 成果

2020年

1月

コーヒー農園が立地するコリドー内に自動撮影カメラを取り付け、ゾウの移動状況のモニタリングを開始。



2月

現場を実際にパトロールする森林局の臨時スタッフにパトロール装備を送り、保護、調査、パトロール技術などに関するトレーニング・ワークショップも開催(56名参加)



4月

村が入植するコリドー内にも自動撮影カメラを取り付け、ゾウの移動状況のモニタリングを開始

- ☑ 6,500頭のゾウからなる個体群が移動するために必要なコリドー 2つについて、JTEF/WTIがプロジェクトを行うことをケララ州が了解
- ☑ 新型コロナ禍によりプロジェクト開始が遅れていたが、まずはモニタリング調査と現場のパトロール支援で始動

残された課題

プロジェクトはまだ開始したばかり。ゾウのコリドー利用に対するコーヒー園や村のくらしの影響を明らかにして、具体的な対策を計画し、実行していく必要があります。



©Susumu Murata

1 これまでの課題

ヤマネコの交通事故

年々増加していた事故数は、2020年、21年ぶりに0！
ところが、2021年には10月13日現在5件と再び増加。



Achievement 成果

- 1 夜間パトロールへの参加者が増え、パトロールの実施回数も増加(2019年118回→2020年137回)
- 2 夜間パトロールで計測した車の速度がさらに低下し、過去最低に(2019年違反率44.2% →2020年違反率42.8%)
- 3 ヤマネコ学習用の冊子、「イリオモテヤマネコとロードキル」を作成し、島内の全小中学生に配布
- 4 毎年恒例の上原小学校4年生の授業後、ヤマネコ交通事故防止を訴える看板を子どもたちが作成し、事故多発地点に設置



- 5 今年の「ヤマネコのいる暮らし」授業の教員研修会に参加した先生が、自ら授業を実施されることに。

2 これまでの課題

生息地のかく乱

西表島が世界自然遺産に登録されると、観光客の生息地への入り込みが増え、環境に対するダメージが高まるおそれがあった(交通量の増加、ヤマネコの人馴れによって交通事故が増えるリスクも)。そして2021年7月、ついに登録が決定した。



Achievement 成果

- 1 遺産登録に関する評価を行ったIUCNは、西表島の環境に与える観光の影響について批判的に評価、それが観光管理計画に組み込まれるまでは島への入域者数を現在と同程度か、現在より削減するよう日本に勧告、やまねこパトロールの意見が反映された。また、ヤマネコの交通事故対策の見直しと強化も勧告。



残された課題

再び増加し始めた交通事故ですが、新型コロナウイルス緊急事態宣言解除後の交通量増加によって、さらに状況が悪化することが心配されています。IUCNの2021年勧告がなされた後も、ツアースポットへの人数制限はまだ実施されていませんし、入島観光客数の制限も実現するかどうかは非常に不透明です。地元の人々と力を合わせ、特に夜間パトロールや行政への働きかけを強化していく必要があります。引き続きのサポートをお願いします！



2020年度にJTJEFが行った支援



・中央インド・トラ保全プロジェクト (2021年10月15日時点)	¥1,723,350
・南インド・ケララ・アジアゾウ保全プロジェクト	¥2,192,800
・イリオモテヤマネコ生息地保全プロジェクト	¥120,905
・イリオモテヤマネコ交通事故防止プロジェクト (2021年10月15日時点)	¥2,756,001
・ヤマネコのいる暮らし授業プロジェクト (2021年10月15日時点)	¥981,092
・JTJEF西表島支部「やまねこパトロール」運営 (2021年10月15日時点)	¥3,392,860
・緊急支援	¥4,784,609
・政策提言事業(国内象牙市場閉鎖など) 教育普及事業(上野動物園トラパネルなど) (2021年10月15日時点)	¥1,437,678

*JTJEFは、個人サポーターの方々からのご寄付の他、チャリティー・イベントでのご寄付、法人・団体からのご寄付、助成金で運営されています。
*最終的な決算(2021年11月1日～2022年10月31日)の内容は、2022年2月発行予定の「年次報告書」でご報告します。

JTJEFの賛同者

相澤登喜恵さん(動物肖像画家)
新井晴みさん(俳優)
池田卓さん(シンガーソングライター)
井上奈奈さん(現代アーティスト)
岩田好宏さん(子どもと自然学会顧問)
牛越峰統さん(一般社団法人日本プロサーフィン連盟名誉顧問)
大森享さん(元北海道教育大学教授)
岡田彰布さん(野球評論家)
小川潔さん(東京学芸大学名誉教授)
加藤登紀子さん(シンガーソングライター)
蟹江杏さん(版画家)
見城美枝子さん(青森大学副学長・エッセイスト)
巨勢典子さん(作曲家・ピアニスト)
小林裕児さん(画家)
権藤眞禎さん(元社団法人兵庫県自然保護協会理事長、
元神戸市立王子動物園園長)
坂本美雨さん(ミュージシャン)
沢田研二さん(歌手)
瀬木貴将さん(ミュージシャン、JTJEF野生動物親善大使)
田中豊美さん(動物画家)
田中裕子さん(俳優)
田畑直樹さん(公益財団法人日本動物愛護協会理事長)
土居利光さん(前恩賜上野動物園園長、日本パンダ保護協会会長)
並木美砂子さん(帝京科学大学教授)
根本美緒さん(フリーキャスター・天気予報士)
南ぬ風人まーちゃんうーぼーさん(三線アーティスト)
ヒサクニヒコさん(漫画家)
平岩弓枝さん(作家)
福井崇人さん(2025PROJECT理事)
福田豊さん(恩賜上野動物園園長)
藤木勇人(志いさー)さん(断家)
古沢広祐さん(國學院大學研究開発推進機構客員教授)
前川貴行さん(動物写真家)
松田陽子さん(シンガーソングライター)
水野雅弘さん(株式会社TREE 代表・プロデューサー)
三石初雄さん(東京学芸大学名誉教授)
宮下実さん(ときわ動物園園長・元近畿大学教授・大阪市天王寺動物園名誉園長)
村田浩一さん(日本大学生物資源科学部特任教授)
森川純さん(酪農学園大学名誉教授)
山極壽一さん(総合地球環境学研究所所長、前京都大学総長/進化論・生態学・環境生物学・動物学)
山崎薫さん(学校法人ヤマザキ学園理事長)
吉野信さん(動物自然写真家)
渡辺貞夫さん(ミュージシャン)

五十音順

クラウド
ファンディング
結果報告

「イリオモテヤマネコを 交通事故から守る活動を行います！」

このプロジェクトは、2020年12月21日に募集を開始し
2021年1月20日に終了、114名の方々から118件のご
支援により、912,780円の資金が集まりました。
みなさまのご支援・ご協力に感謝申し上げます。



お知らせ

クラウドファンディングに ご協力をお願いします！

Crowd
funding

第1弾 11月1日～11月15日

やまねこパトロールと野生生物サポートグッズ
結との共同企画による「ヤマネコTシャツを
買ってイリオモテヤマネコを守ろう！」を開始
します。同封のチラシをご覧ください、ぜひご
協力をお願いします。

第2弾 11月21日～12月20日

来年の寅年に向けてトラ保護への強化のご協力を
お願いします。地球温暖化も影響し、**インド**も今
年は**山火事**が続きました。WTIは南インドでの
経験から落ち葉を吹き飛ばす**リーフブローア**が延
焼食い止めに効果的であることを発見。火災の迫
る草地に落ちた枯れ草などの燃料源を、**リーフブ
ローア**で既に燃えてしまったエリアに吹き飛ばす
ことで、炎の燃え広がりを食い止めることが出来
ます。来年の山火事シーズンに備え、**リーフブ
ローア**の購入代金のご協力をぜひお願いします！

パネル展示

上野動物園トラ展示施設の
壁に置かせてもらっている
JTJEFトラ保護パネル(イラ
スト協力:ヒサクニヒコさん)
8枚がリニューアルされま
した。上野動物園では1月
に干支のトラ展も開催。



online event

第2回 オンラインイベント報告

2020年11月14日(土)

JTJEF理事長戸川久美著
「野生動物のための
ソーシャルディスタンス」(新評論社)
出版記念ウェビナー開催

トラ・ゾウ保護の20周年記念、象牙
取引との闘い、父が発見したイリオ
モテヤマネコ保護活動を振り返り、
象牙問題、西表島のこれからを坂元
JTJEF事務局長、高山西表島支部事
務局長と共に語りました。色々感想
やご意見も頂いたので、次回はさら
にパワーアップして楽しいイベント
作ります。

31名のご参加を
いただきました！

JTJEF

サ
ポ
ー
ト
の
ご
継
続
を
お
願
い
し
ま
す
！

JTJEFの活動は、皆さまからのご寄附で支えられて
います。野生動物と私たちの豊かな自然環境を守るため
に、ぜひ私たちの活動をご支援ください。

～年間サポーター費・随時寄附のお支払方法～

JTJEFのウェブサイトから、クレジットカードで簡単
にご寄附いただけます。

www.jtjef.jp または「トラゾウ」検索

郵便振替でも
ご寄附いただけます。

ゆうちょ銀行
口座番号: 00170-7-355897
加入者名: トラ・ゾウ保護基金

「マンスリーサポート」に、 基金別プランが 加わりました！

これまで基金の区別が無かった
マンスリーサポート(クレジットカード決済 毎月課金)に、トラ、
ゾウ、イリオモテヤマネコ別の
選択ができるようになりました。
ぜひ、ご一考ください。



認定NPO法人 <http://www.jtjef.jp/>
トラ・ゾウ保護基金

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-5-4 末広ビル 3F
Tel: 03-3595-8088 Fax: 03-3595-8090
E-mail: hogokikin@jtjef.jp <https://www.jtjef.jp/>
郵便振替口座: ゆうちょ銀行 口座番号)00170-7-355897
加入者名) トラ・ゾウ保護基金

保護基金通信 期末特別号
トラ保護基金 vol.38 / ゾウ保護基金 vol.35
イリオモテヤマネコ保護基金 vol.24
2021年10月29日発行
発行人・編集: 戸川久美